

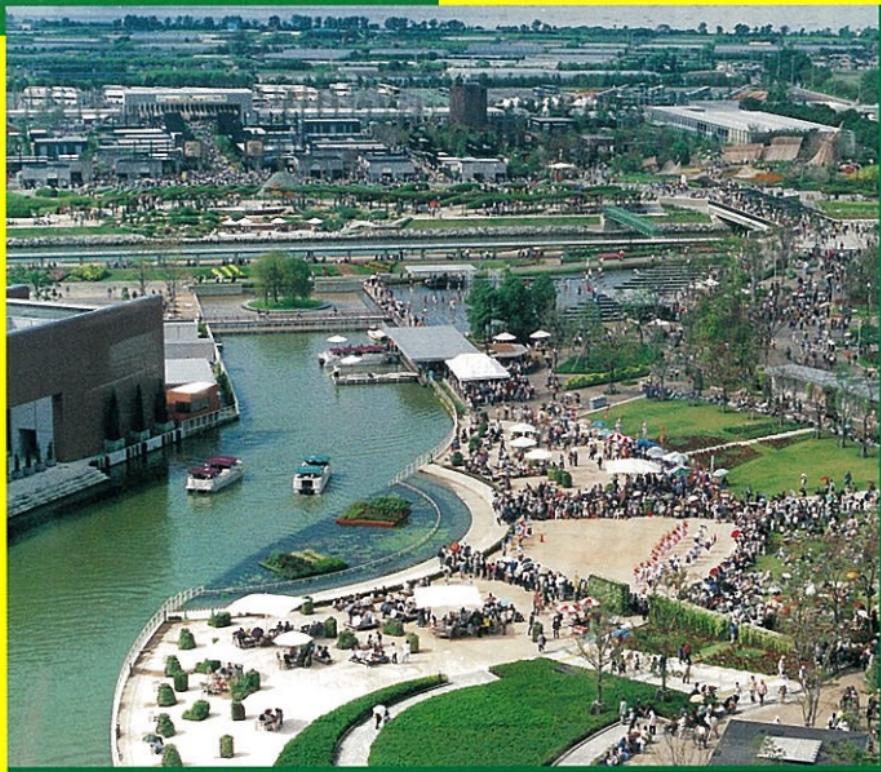
社団法人静岡県造園緑化協会

緑の宝



2004
秋号
No.33

(浜名湖花博特集号)



最終日のにぎわい

目 次

| | |
|--------------------------|--------|
| 吉岡会長代理あいさつ | P2 |
| (社)静岡国際園芸博覧会協会 会長代理 吉岡徹郎 | |
| 県知事賞受賞 | P3 |
| 海外庭園(ワールドガーデンコンペ)施工 | P4 |
| 国際庭園施工／ドイツ・中国 | P4～5 |
| 百華園・自治体(三重県・富士川町) | P6～8 |
| 我が社の自慢作品 | P9～10 |
| (株)ひかり造園・(株)庭明・天龍造園建設(株) | |
| にぎわった水車小屋のある庭 | P10～13 |
| 緑化相談・庭の日・合唱・アンケート | |
| 緑のクリニック事業 | P13 |
| 支部活動 | P14 |
| 造園施工管理技士会だより | P15～19 |
| 話題の森 お知らせ 編集後記 | P20 |

題字／技士会会长 乗松文男



大きく育てよう！浜名湖花博の種



（財）静岡国際園芸博覧会協会

会長代理 吉岡徹郎

の博覧会を実現できたものと思います。

さて、浜名湖花博は、開催の目的のひとつとして、「花卉園芸・造園産業の振興」を掲げました。花卉園芸につきましては、県内の花卉生産農家で組織する「花と緑生産者協議会」が六、〇〇〇品種五〇〇万株の花々の大半を供給してくれました。造園につきましても、県内業者の方々に多くの造園工事をお願いし、世界のトップガーデンデザイナーが設計した庭や新たな工夫を施した主催者庭園などの施工にチャレンジしていました。この浜名湖花博を通じて、静岡県の花卉園芸・造園産業の技術は確実にレベルアップし、その実力を国内外にアピールできたものと確信しております。

浜名湖花博は、「花・緑・水・新たな暮らしの創造」をテーマに開催いたしました。このテーマについては、多くの方々に御理解いただいたものと自負しておりますが、今後は、浜名湖花博が持ったこれらの種を芽吹かせて、大きく育てていかなければなりません。このため、花と緑に関わりの深い静岡県造園緑化協会の皆様には、

さらなる御尽力をお願いするものであります。造園を通じて、花・緑・水を活用した豊かで潤いのあるまちづくりや地域づくりを推進していただければと思います。

浜名湖花博のマスコットキャラクター「のたね」は、「人間は様々な可能性を秘めた「の種」であり、花を咲かせるのは自信と努力なんだ」という思いを込めて命名されました。「のたね」は、会期中に多くの方々に愛される人気者に成長しました。私たちも「のたね」に負けないよう、「浜名湖花博の種」を、大切に育てて大きく育てていきたいものです。結びに、静岡県造園緑化協会のますますの御発展を心からお祈り申し上げます。

社団法人静岡県造園緑化協会の皆様には、浜名湖花博の開催に当たりまして、特段の御配意を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、パンジー、チーリップやサクラなど圧倒的なボリュームの花々で会場を飾り、四月八日に開幕いたしました浜名湖花博は、バラ、アジサイ、ユリ、ヒマワリと季節とともにその花景色を変え、キクやコスモスが咲き乱れる中、十月十一日に無事閉幕を迎えました。そして一八七日間の会期中に、国内外から目標を大きく上回る四五万人の方々に御来場いただきました。この大きな目標を達成できましたことは、静岡県造園緑化協会の皆様をはじめ、浜名湖花博の開催・運営に関わった関係各位の熱意と努力の賜物であり、そして何より、浜名湖花博を御観になつて楽しんでいただいた多くのお客様のお力添えによるものと、心から感謝申し上げます。

ところで、静岡県の人口を遥かに凌ぐ五四五万人という大勢のお客様に御来場いたいた最大の要因は、延べ六、〇〇〇品種五〇〇万株の魅力あふれる花々を展示できることにあるのではないでしょうか。会期中に5回の植替えを行い、季節の花々で飾られた会場は、「来るたびに新しい花博」として、お客様にお楽しみいただけたことと思います。そして、様々な趣向を凝らした庭園と花壇は、御家庭でのガーデニングにとっても、大変参考になつたのではないかと想います。

また、市町村の日における多彩なイベントをはじめ、花や緑に関する体験教室、写真展や絵画展などに、実に多くの皆様の御参加を得ることができました。さらにも、小学生からお年寄りまで幅広い年齢層からなる約二、四〇〇人、延べ二五、〇〇〇人のボランティアの皆様には、会場サービスから花の維持管理、清掃など会場のいたるところ、活躍していただきました。このように、幅広い層の多様な参加により、一参加型



入場者の誰もが感嘆の声を上げたほほえみの庭



浜名湖花博 成功裡に閉幕

四月八日に開幕した、しづおか国際園芸博覧会・パシフィックフローラ「浜名湖花博」は、入場者目標五百万人を大きく上まわる五四五万人のお客様を迎えて、十月十一日に

成功裡に幕を閉じた。五四五万人は、静岡県の人口三八〇万を遥かに凌ぐもので、(社)静岡県造園緑化協会で行ったアンケートではおよそ入場者の五〇%が県内、残りを関東方面と愛知県を含む関西方面で分け合っていた。

(社)静岡県造園緑化協会では、二度と係わることのないこの園芸博は、単に仕事の対象ではなく、我々の大祭典であるところ、前売り券の購入と販売、基金を取崩しての庭園展出、支部活動費を切詰めての屋内出展二回、会期中、毎日二会員を派遣しての庭造り、緑化相談所の開設、土・日曜・祭日の庭園ガイド等々その成功に向けて可能な限りを尽してきた。以下は、協会出展庭園の受賞会員がいろいろな立場で係わり、その時どきのリポートである。

中・東部出展作品県知事賞に輝く

中部・東部支部で経費を出し合つて国際花の交流館に出展し

た作品「野の花の景」が第二十

二回国際コンテスト「秋の花風

景」(「展示期間九月十一日

十九日)でみごと優秀賞を獲

得し、その中から選ばれる特別賞・県知事賞に輝きました。設

計は中部支部の(有)飯田庭園、

飯田正徳さん、施工は同じく中

部支部の(株)岳陽クリーン、大

石誠三郎さん。

庭は、待ちに待った秋景色を楽しんでもらおうよう、水景、花風景、秋の七草、秋の果実など

休憩も出来るようにベンチも配置した。秋の野の花や紅葉にはまだ早いけれど赤色系、オレンジ系、黄色系の植物を多く植栽

した。

施工に当たった大石誠三郎さんは、昨年のうちから紅葉の落葉を確保したり、紅葉を早める工夫、浜松に一週間寝泊りするなど、苦労が多かったという。なお、築庭に使った「木製キット」は銅賞を受賞。

秋田勝(財)静岡国際園芸博覧会事務局長から表彰を受ける大石誠三郎さん

五月のグランドガーデンショーや「全期間展示庭園の設計」「同施工」でいずれも金賞を受けました。

八月の涼のガーデンショーでは、「出種間近の棚田」「野草と流れ」がそれぞれ銀賞を受賞。

九月開催の第二十一回全国都市緑化しづおかフェアでは奨励賞を受賞。

ファイナルガーデンショーや「全期間展示庭園」で金賞、「短期間展示庭園」で銀賞を受賞。

そして財団法人国際花と緑の博覧会記念協会今井敬会長から「特別賞」も受賞し、全部で十六の賞を受賞した。

「水車小屋のある庭」数々の賞を受賞

県道園緑化協会で出展してい
た庭園「水車小屋のある庭」

間の管理で数々の賞を受賞し
ました。

・施工(有)飯田庭園 飯田正徳
・施工(有)大瀬造園 堀之内哲夫
・水車小屋(株)尾崎工務店 代
表取締役大橋茂夫さんの協賛
展出は、物珍しそうにのぞく来
客で連日おおにぎわいであつ
た。

まず四月八日のオープニング
ガーデンショードでは「水車小屋の
ある庭」「四阿」が金賞、「ぱつ
り」「森の水車」が銀賞、「つくば
いと水琴窟」「六地蔵」が銅賞を
受賞。

四月の新緑のガーデニングで
は、植栽材料の「ヤナギラン」が
銀賞、「ココカラクスグ」が銅賞を
受賞。審査日にはわせて開花し



県知事賞を受賞した「野の花の景」



秋田勝(財)静岡国際園芸博覧会事務局長から表彰を受ける大石誠三郎さん

秋田勝(財)静岡国際園芸博覧会事務局長

ワールドガーデンコンペティション作品施工

アジサイの中で朝食を(アメリカ)

(株)みどり園 高林久雄

新宿アリーナで開催された「ワールドガーデンコンベンティション」の一点、アメリカのマーサ・シヤビロさんのお庭をお手伝いすることになりました。いよいよ会場も姿を表そたのは、うとう頃であったと思います。

アーチとその家族と我が社のスタッフ

ます。実際に樹木、花、石材等を見に各地を回りました。高木はこの時およそ決りホッとした。二日間の打ち合わせでしたが、直接言葉が通じないこともあります。安が残りました。マーサが私達に期待するものを作れだけ理解できただろうかといふ不安です。恐る

す」とでも儒たたしい「一週間で」とか、「堅張の中にも柔軟な庭創り」とか、「完成した時には、昔とてても結構なものがあった」とか、「出来上がった庭は、とても素晴らしいものでした。」花博も盛況のうちに終り、今咸り、じるの大変な作業でしたが、何より「一流デザイナーとの出会い」との出会いといふ

私の花博

(株)八ヶ代造園 村松正基
した。二度目に関係したのが、海
外展覧会基礎工事で平成十五年七
月から最終完成するまででした。
私が受注した工事は中国庭園で

私の花博

国際庭園の施工

(株)八ヶ代造園
村松正基



完成庭園

いります。次のマサの来日は三月三日です。その間は、メール等を仲間の調整をしていきます。材料が入手可能か時期に問題はないか等です。こちらからも作業の進捗状況をその都度送り、確認をしていただけました。

トナーのクリアと来日しました。通訳を名づけ、古屋の橋渡さんにお願いしました。これから完成までの二週間はとても忙しい毎日です。大変な事は花を集める事です。各地の花市へ何度も足を運び希望する物を取り揃えます。マーサとクリアは植物の色にとてもこだわりを持って

貴重な体験が得られ、教えられる事が沢山あった事がとても嬉しく思っています。又、反省する事も多々あります。今後の庭創りに生かせて行きたいと

全社員で確認しています。二度と無い様な経験をさせたいと思いました。そこで関係者の皆様にお礼を申し上げたいと思います。改めて関係者の皆様にお礼を申し上げたいと思います。

中国庭園が最初のプロジェクトで

国際大賞をいただいた時には、「や

つたー!」と言う思いでした。オーナー

ブン約半年前の九月、中国浙江省に打合せに出掛けた時から本格的に動き出しました。中国と日本では、庭園を作る上で感覚の違い、たとえば池の護岸、流れのうねり工合など、調整が朝から丸一日通訳の方を交えて行う。一日半の調

整予定が一日で終わり、夜にはにぎやかに食事会が!!これからが大変です。今夜は御馳走となりました。杭州からおいで技術員の王さん

施工予定地と建設中のきらめきタワー



施工予定地と建設中のきらめきタワー

王さんにOKをもらい、大工さんは大変でした。百トンもの材料が届く、現場に入ってくる。増え大変です。自分たちの工事に加え中国の仕上げ工事の材料の段取り、小運搬。花博全体が最終段階に入りました。中国の方々は毎日自転車で、近くの宿舎（海之家）から通い休みもなく働いています。それぞれが相当していました。中国の工事は順調に進み、海外出展工事の中でもより黙々と進めています。工期が短かいと休みは雨の日だけです。作業通路の一時的な通行規制にもすごい反発が有り、協会の方々によると「いつまでやるの？」と尋ねられました。二ヶ月半の工事の間に中国のみな

と筆談をまじえながら工事を進める。やはり一番ネックになったのは護岸工合など、基礎コンクリートがそのまま仕上りの曲線

になるため、自在型枠材を使用し、底と立上りを同時に打設するが、型枠大工さんは大変でした。王さんにOKをもらい、大工さんは大変でした。百トンもの材料が届く、現場に入ってくる。増え大変



中国職人による半亭（入口）の屋根ふき作業



ドイツ・クレフェルト市緑地園芸局での打ち合わせ

国際庭園の施工に参加して

（株）植松造園建設 渡辺満則

ドイツとオーストリアの出展庭園の施工に、従事させてもらい、

いただけなかつたようです。

ドイツ庭園の施工においても、

去年ドイツを訪問して、着工の下

一部又は、すべての施工が共同作業になりました。施工方法、考

方などすべてに、違いがあるため、

多方面にわたつトラベルが、作業

の進捗のネックになりました。特

にリーダーの人たちは、ドイツ系

のお国がらか、とても頑固でまつ

たくと言ひ切つてもよいほど、妥

協はありません、困りました。

ドイツは、今年一月早々に五名

のヤングスタッフが来日して、オーナー

ストリアと同様にすぐ作業を開始しましたが、発電機などの機械類、

小道具、土木材料のひとつひとつに違いがあり、その調達、供給に

困りました。コンクリート工事な

どでは、型枠の作業や養生期間、

出来形確認の役所の立会いなど理

解されなく、設計書に基づく施工

管理も無視の状態で作業が進行

しました。植栽材料などは、すべ

てドイツから持ち込む計画でした

が、植木に土を付けるものは、清水の検疫に引っかかり相当数廃棄

てから庭園に持ち込むといった手数がかかりました。生垣に使われ

係者及び、施工に携わったスタッフの人たちも喜んでいたとき、ほんとうによかったと思います。その後十月十一日の閉園までの長い間、庭園の管理作業までも従事、多くの来園者の方に庭園を見学していただき、また、園内でお話をかけていただき、感謝しています。

いろいろと苦勞がありました
が、無事庭園が完成して、コンテストで金賞をいた
だき、ドイツの関

た。 残念な結果でし



嫁工間近のドイツ庭園

た材料は三月に
航空便で持ちこ
まれるなどして、
なんとか材料が
確保されました。

百華園の施工・管理

(株)東海フォレスト 栗山則行



■ 鋼及刀具使用材料

量三万一千ボット四



作業状況

長く、そして色々な事が多々ありました。一八七日間でした。ご来場の人からの評判も良くして無事に閉園を迎えることが出来た事を担当者として関係業者の方々には大変感謝しております。今日では大きな変化した期間中も夢のように感じ

の品種を収集し使用するエリアでした。
そのエリアの一つに花壇の庭と呼ばれた多肉植物を配置したエリアです。この庭は、
百メートル四方の大きさで、花壇の庭と呼ばれています。

は言葉に言い表わせないものがありました。
しかし、完成までには思考錯誤の連続、失敗の連続でした。直径三センチの小さなボットを図面と照らし合わせ軽く埋め込む。隣の鉢が動いてしまい失敗。図柄に合わせ外枠を作り施工。勾配がある為下側に鉢がズレてしまいこれも失敗。ズレ防止に鉢底に接着剤を付け不織布・ゴムシート等に接付けや成功。最終的に原寸大の

に伸びし多肉を潰さないよう、細心の注意を払つてのベンチ。まとまっている場所は脚立を足場に渡し板を掛け、腰ばいになり、苗の入れ替え。大変手間のかかつたりアですが、こんなエリアだからこそ思いたが、残るのかと思われます。



植替え作業



バショウとバナナのベンチ

自治体出展庭園施工 設計・施工・管理を終えて

(有) 飯田庭園 飯田正徳

三重県出展庭園「松尾芭蕉の世界」の
設計・施工・管理を終えて
生誕三百六十年のイベントの年で、
そのPRも兼ねた庭園を、イメージ
検討をしながら対応し閉園を迎えることが出来ました。この様な経験は私を含め現場を担当した人々においては今後貴重な財産になるものと考えます。

芭蕉リバナナが先ず頭に浮かんだ。
学生時代に京都の落柿舎に行つた時、落柿舎に大株のバショウが繁茂しているのがとても気になつて、いたところ、芭蕉が滞在したことがあるのでバショウを植えて

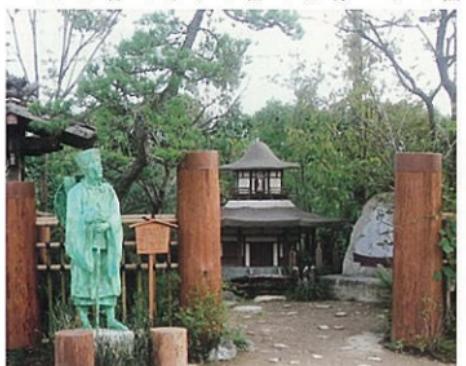
いるのだよ」と教えてもらったので、当時より芭蕉の名は植物のバショウが由来だと感じていました。

どうのような経験で芭蕉名が付いたのか? 設計はそのまま名前で詠まれた句は左記の句五

生誕三百六十年のイベントの年で、
そのPRも兼ねた庭園を、イメージ
検討をしながら対応し閉園を迎えることが出来ました。この様な経験は私を含め現場を担当した人々においては今後貴重な財産になるものと考えます。

芭蕉リバナナが先ず頭に浮かんだ。
学生時代に京都の落柿舎に行つた時、落柿舎に大株のバショウが繁茂しているのがとても気になつて、いたところ、芭蕉が滞在したことがあるのでバショウを植えて

いるのだよ」と教えてもらったので、当時より芭蕉の名は植物のバショウが由来だと感じていました。



芭蕉の世界入口 石碑・俳聖殿(縮尺:1/8)・芭蕉像

句で石碑に造り花博完了後に生誕地伊賀上野へ再設置し花博という大イベントが風化されない様にすると共に、壇す時の悲しみが少しでも軽減されるような作品としたつもりである。

石碑に刻んだ五句

「やぶ椿 門は律の」

「わかばかな」

「名や小松吹く 秋叶」

「丸子の宿の とろろ汁」

「しをらしき 身の衰ひや 海苔の砂」

最後に気になる句一句

天野園芸(株)望月教彦

富士川町庭園施行管理について

石碑に刻んだ五句

「両の手に 桃と桜や草の餅」

「草はまだ 青菜ながらに 茄子汁」

「身の衰ひや 海苔の砂」

「喻み当つる うと……色々勉強させていただき

ました。この句を目にして、体を大切に

これからも続々限り仕事を頑張ろ

装飾を施すなど工夫をお願いしました。八回のコンテストに合わせると云う事です。それぞれ日程が決ついて審査日まで設定してありました。まず施行の面図面上に季節に合わせた中低木、草花、地被を早春(四月)、春(五月)、入梅(六月)、初夏(七月)、夏(八月)、初秋(九月)、秋(十月)の七回位に分けそれぞれの時期に合わせ計画しました。正面より見てどの位置が高いか、季節感あふれる植物を七回に分けて植栽する事を決定し、その場所はいつも植え換え出来る様に土を深くし、高木の根元であっても鉢のままでもすぐ換えられる様にしました。前年の六月から十月にかけて現地に三回行き、夏にかけて植物の生育を観察しました。ほとんど植物が順調に生育しているのをみてこれなら大丈夫、夏を越すことなどが出来ると思いつつしました。協会にて行なう等又撤去施工は第一期工事が十五年十一月四日~十一月十三日の八日間でした。富士川業座のモニュメント製作、富士川護岸のジャガブに石をつめたての縁石や沢と池造り盛土など主な工事は八日間ですませる事が出来ました。

会期一八七日間に八回

の国際コンテストが行なわ

れる事がわかりました。植物の入れ替えについては季節にあわせた植物を植え

月一日までの五日間

でした。骨組みが出

来ていましたので低

木草花、地被等の植

栽は二日間で終了し

ました。一番気にな

つたのが半年を通じて水の循環が止まら

ずタイミングスイッチ通

り作動するか、ボン

ブは大丈夫か、ポン

ブは二台用意してい

つでも交換できるよ

うにしました。水が

くさらない様に水草

等も植えました。

花博が始まったと

云う実感がわいたの

は四月七日の内覧会

でした。すべての会場が花で飾ら

れていてどこに行なっても会場の雰

囲気は良く特に百草園は品種も

多く見えたことがありました。

会期施工は第一回あります。

ステージで富士川町をPRしてい



池の水辺

我が社の自慢の作品

「面白植物展」受賞の喜び

(株)ひかり造園 小松庄次郎

屋内コンテスト(静岡ドリーム)に於いて優秀賞及び浜松市長賞をいたしましたので、その報告と出展の概要をお話します。

● 静岡県のシダと面白植物

私のブースは三区画あり、順路側より一区画を「面白植物」残り一区画を「静岡県のシダ」に当ました。「面白植物」では、二区画の内一つをエアープランツなどの、ハイナップル科の植物を中心とした「中南米地域」の熱帯雨林の植物を、残りのブースでは、世界の主要な乾燥地の植物を、各々三

島々として有名な、マダガスカルを中心とする「その他の地域」に各々区分けして、展示しました。その目的は、一般には、まだまだ知られていない珍しい二、三種類の植物と、その生息環境を、知つて欲しかったからです。それらを実現する為に、現地の写真を、壁いっぱいに伸ばして、本物と写真を、同時に展示することで、あたかも自分が、足を踏み入れたかのように錯覚を起こすように、仕上げました。

時に、静岡の自然は極端な派手さや珍奇な植物は少なく、地味ですが、四季折々に私たちを、感動させてくれる、やさしい自然です。私共の展示は、静岡の自然ほんの一端に過ぎませんが、他の地域の自然と対比してみると、静岡の自然のよさを、きわだたせ、少しでも、それが良さを発信できれば、これをえます、そんな静岡のシダの中で

区画に分けました。それらは、サボテンの王国である「南北アメリカ地域」と、多肉植物の王国の「南北アフリカ地域」及び壺型植物の



静岡のシダ



イメージベース

本来、日本の庭園の多くは完全なる觀賞用の庭であり、いわばプロが手がけるものです。しかし

も、静岡県を北限とする、植物地理学上意味のある種類や、形態分類上また研究を要し専門家でも、見分けのつきにくい種類を、自生状態で展示しました。

私はいつも自由な発想をもつて、自然は常に変化している。そのため、だから私の庭造りといいうのも、そうありたいと心がけています。

今回、浜名湖花博に出ていたし

ましした。「里山」美しい自然との調和を常に意識

している自然なスタイルと成りました。

「里山」それは、ひとことで言うなら、誰もが心の中に

もつてゐる懐かしいふるさとの



完成写真

変わることのない心象風景・里山

(株)庭明 塚本 明

景観です。遠くにひろがる段々畑、水のせせらぎ、いつか聞いたあの枝を揺らす風の音、日本人のもう永遠に変わることのない心象風景。

そのエッセンスを静かな佇まいの中に再現した庭が、この里山なので

す。

本来、日本の庭園の多くは完全なる觀賞用の庭であり、いわばプロが手がけるものです。しかし

も、静岡県を北限とする、植物

地理学上意味のある種類や、形態分類上また研究を要し専門家でも、見分けのつきにくい種類を、自生

状態で展示しました。

私はいつも自由な発想をもつて、自然は常に変化している。

そのため、だから私の庭造りといいうのも、そうありたいと心がけています。

今回、浜名湖花博に出ていたし

ましした。「里山」美しい自然との調

和を常に意識

している自然なスタイルと成りました。

「里山」それは、ひとことで

言うなら、誰もが心の中に

もつてゐる懐かしいふるさとの



碧の森・花の河

人々が庭と共に生活していくことのできる里山。それがコンセプトです。

自然が変化に富んだものであるならば、庭もそうあるはず。そしてそのためには、私たち職人の技術も、常に進化していくなければいけないと感じています。

天龍造園建設(株)
比留川靖夫

「碧の森・花の河」は、日本古来から伝わる伝統的庭園形態である枯山水庭園を、親しみやすくアレンジした庭園です。堅苦しい雰囲気を廻し地味に感じる天竜龍山の山石・派手さを感じさせない雑木を使い立ることにより、身近な自然の美しさを表現しました。また、その中

花の河としての「流れ」を表現するために色を分けた結果、花苗は季節感が出る種類であることが、花色がはっきり出ることを条件として選択されました。実際に花で「流れ」を表現するのは難しく、流れを演出する

な花を植え花の河とし、造られた
美を表現しました。

この種類の異なるうの美しい景
観を融合させることにより今まで
見たことのない幻想的な風景を作
り出すことができたと感じており
ます。この庭の主役となつたのは中
央に流れる花の河ですが、今回の
開園期間中で最も苦労したのは花苗
の種類の選択と、その維持でした。

A photograph showing a garden path or stream bed constructed from crushed stone in shades of white and red. The path is bordered by lush green foliage and large, light-colored rocks. The crushed stone creates a textured, decorative surface.

芸文化の材料である明るい色彩の花々も、使い方を工夫すれば、古くからある日本庭園をより華やかに装飾できることを実感できました。また、これから的新しい庭園形態を創造していく上で、このような手法を多く取り入れることを提案し実践していくことが必要で、あると感じました。

A photograph showing a group of approximately 20-30 children standing in two rows on a stage. They are all wearing matching yellow hats and various patterned shirts. The stage has a wooden wall in the background. In the foreground, the back of a person's head and shoulders are visible, along with a blue and white striped object.

(社)静岡県造園緑化協会は、「光の庭」エリアに三〇〇坪方の「水車小屋のある庭」を出し展し、そこを拠点に花博の開期中諸々の活動を展開した。全社上げての「庭作り」緑化相談、静岡県造園施工管理技士会による「土・日・祝日の庭園ガイド」「毎月二十八日の庭の日イベント」「森の水車合唱等を開催、連日おおいにぎわいであった。庭に設けた六地蔵には賽銭が上づられ、その額は二十万円余に達した。その使途については、当初、緑化基金への寄付が考えられたが、花博終了後に発生した「新潟中越地震」の義援金とした。

場所をのたねステージに替えて合唱と楽器演奏

●
森の水車

51

小学校四年生の皆さんに、シンボルの水車小屋の前で、戦後にラジオから流れていた「森の水車」の歌を元気よく合唱していただきたい。
(詳細は二〇〇頁参照)

「水車小屋のある庭」
連日、おおにぎわい

● 庭作り・緑化相談あれこれ
毎日、二人ずつ相談員として相談に当つたが、即答できない質問



炎天下で除草に精出す渡井副会長



収穫時期近づく



刈り取られた畠の風景

正解がわかるよう、その植物にまつわるヒントも記載。成績優秀者は、協会発行の冊子、「花と緑を育てよう」と草花のボット苗を贈呈した。
挑戦者は、番号の付いた植物とヒントを見ながら熱心に回答に取り組み、採点は当日の庭作り相談の当番者。採点して「満点です！」おめでとうございます」と景品の冊子と花苗を渡すと「小学生以来の百点、答案用紙も記念に欲しい」と持つて帰る人も。五回行つたク

棚田三景



熱心に質問する来客と応える鈴木東さん

すべてに通じているのではないのから、回答、参考書を見てから回答などの対応をした。会員が参考図書を四種備えていたら一冊高価な園芸図書を益まれてしまつた。花好きにも悪人が居るので勉強させられた。

庭作りでは新築した場合の庭作りの経費は?、プロックの積み方、庭の坪当たりの単価は?、芝張りの経費、白川砂利の購入方法、流れの作り方、屋上緑化、洋風庭園と植栽樹種等々質問は多岐に

わたり回答にも苦労する。

もあり、後で関係機関に照会してからの回答、参考書を見てから回答するなどの対応をした。会員がすべてに通じているのではないのから、参考図書を見てから回答などの対応をした。会員がすべてに通じているのではないかと勉強させられた。

アツキの境はどうすればよいのか、ツバキの移植方法とその後の管理、ハサク・センリヨウの実がならない、ヤマボウシ、ツツジ、ハナミズキの花が咲かない、花木の剪定方法、竹の植栽時期、カイガラムシ、アブランシヨトウムシの防除方法等々、訪れる人ごとに相談内容が異なり、かなり専門的な知識がないと回答できない質問が多く、相談員泣かせであった。

緑化相談の方は、日陰に耐える地被植物は、芝生の養生、芝生とサツキの境はどうすればよいのか、ツバキの移植方法とその後の管理、ハサク・センリヨウの実がならない、ヤマボウシ、ツツジ、ハナミズキの花が咲かない、花木の剪定方法、竹の植栽時期、カイガラムシ、アブランシヨトウムシの防除方法等々、訪れる人ごとに相談内容が異なり、かなり専門的な知識がないと回答できない質問が多く、相談員泣かせであった。

緑化相談の方は、日陰に耐える地被植物は、芝生の養生、芝生とサツキの境はどうすればよいのか、ツバキの移植方法とその後の管理、ハサク・センリヨウの実がならない、ヤマボウシ、ツツジ、ハナミズキの花が咲かない、花木の剪定方法、竹の植栽時期、カイガラムシ、アブランシヨトウムシの防除方法等々、訪れる人ごとに相談内容が異なり、かなり専門的な知識がないと回答できない質問が多く、相談員泣かせであった。

庭の日イベント

毎月二十八日を「庭の日」として出展企業がそれぞれ出展庭園を作り、緑化相談を行っていたので、庭の日には庭園に植栽されている樹木や草花十種に番号を付け、その植物名を五者択一方式で正解を求めるクイズとミニ緑陰講座を開催した。

クイズには、現物を見なくとも

正解がわかるよう、その植物にまつわるヒントも記載。成績優秀者は、

協会発行の冊子、「花と緑を育てよう」と草花のボット苗を贈呈した。

一方、ミニ緑陰講座は緑化相談

で「花木の花が咲かない」という相

談が多くあったのに応えて「花木

の剪定について川崎専務理事が、

花芽分化の時期、花芽形成の位置、

剪定時期等について理論的に解説。うだるような暑さの中、講座

に熱心に耳を傾けていた。

以下はクイズの例題(木小屋

のある庭)【浜名湖花博】に寄せら



クイズの採点、庭作り相談に大忙しの寺田さんと田中さん

れた感想である。

許す限りと思い歩き続けます。

(熊本県 六十代 女)

・全体に清潔で気持ちがよい。休憩所が多いのが非常にうれしい。一日では全部回ることが出来ないの

・汗をかきながら初めて見る草花に感動。日本の盆栽展はほんとうに素晴らしい。

(神奈川県 六十代 女)

・何度も来博しても感じよく見させてもらっています。日本は親孝行のつもりで母を連れてきました。

(碧田市 六十代 女)

・十月十一日で終了はもったいない。こんな公園が常時鑑賞できたうれしいです。本当によく整備されていました。

(浜松市 七十代 男)

・自然との調和が美しい環境保全のキャンペーンになればうれしい。

(島根県 六十代 男)

・十月十一日で終了はもったいない。こんな公園が常時鑑賞できたうれしいです。本当によく整備されていました。

(社)静岡県造園緑化協会

・会員が施工した箇所について(財)静岡県グリーンバンクとともに育成管理巡回指導を実施した。巡回指導箇所は、東部支部十一箇所、中部支部十六箇所、西部支部三五箇所、計五二箇所。绿化工事は、完成すると所有者の責任で管理することになるのが、どの施設も管理費がなくて苦労が絶えないようである。巡回指導に当った生の声を届ける。



地蔵小屋を囲む綺麗な芝生

で初秋に又来たい。

(愛知県 七十代 男)

・汗をかきながら初めて見る草花に感動。日本の盆栽展はほんとうに素晴らしい。

(神奈川県 六十代 女)

・何度も来博しても感じよく見させてもらっています。日本は親孝行のつもりで母を連れてきました。

(碧田市 六十代 女)

・十月十一日で終了はもったいない。こんな公園が常時鑑賞できたうれしいです。本当によく整備されていました。

(浜松市 七十代 男)

・自然との調和が美しい環境保全のキャンペーンになればうれしい。

(島根県 六十代 男)

・十月十一日で終了はもったいない。こんな公園が常時鑑賞できたうれしいです。本当によく整備されていました。

(社)静岡県造園緑化協会

・会員が施工した箇所について(財)静岡県グリーンバンクとともに育成管理巡回指導を実施した。巡回指導箇所は、東部支部十一箇所、中部支部十六箇所、西部支部三五箇所、計五二箇所。绿化工事は、完成すると所有者の責任で管理することになるのが、どの施設も管理費がなくて苦労が絶えないようである。巡回指導に当った生の声を届ける。

緑のクリーツク事業を実施して

(株)桔梗庭苑 大屋力三

去る七月三十日台風十号の接近する中、大雨の心配もありました。各施設管理者並びに支店担当者と緑化施工者立会のもとで造園協会の会員として(財)静岡県グリーンソング掛川支店管内一件、小笠町支店管内一件、大須賀町支店管内一件、袋井支店管内二件の計五件について、樹木の生育・生態状況及び管理状況を調査し、管理方法の指導、提案を各担当者にさせて頂きました。

翌日、育成管理状況調査票を協会事務所の方へ持参したところ、今回の巡回指導で各担当者とのお話をすると「ぜひ、現場の声」を「と言う事でベンチの施設へ行っても第

一回は「維持管理の予算を取るのが厳しい」と言う声が聞かれました。ある施設管理者からは、「なるべく予算をつけて管理を委託発注したいのだが、やなり予

して私は、この担当者が居なくなるんだろ?」と感じました。

また街路施設担当者からは、地域住民と委託を交えて除草作業を行い、委託発注の除草費用の削減を、学校・保育園等ではPTAや職員・児童で除草をしているそうです。除草作業は植物の保護、美観を保つ上でも大切ですが、年間を通じて費用がかさむ作業ですので地域住民やPTAの協力で継続している。とか松の芽つみ取りは担当者が行い、冬のもみ上げ作業は業者に冬期定期定と一緒に行なってもらっている。この話を聞きました。

私が今回一番気になった点は、やはり病害虫駆除の問題です。基本的に葉剤散布はしない施設、殺虫散布は行なつても殺虫(病気)散布は行なっていない施設さればは、とんど消毒の定期発注は難しいと思いますが、樹木・草花のためにも早期発見、早期駆除を、特に葉剤散布が出来ないところでは、

害虫の捕獲・病枝の除去をお願い致しました。

今回育成管理の巡回を行つてみて、施設担当者それぞれの緑化維持の関心・大変さを痛感致しました。一件、施工時は支店担当で維持管理は里管轄なので耕作業(除草)は支店担当で行つていると言ふ施設もありましたが、それぞれ



大須賀町大淵小学校

苦労で緑化維持をされていました。なかでも緑に対して目配りが良い行き届いている施設はやはり美観的にも機能的にも良い緑化になっていると思います。

巡回指導により、施設管理者に少しでも理解していただけたと思

います。施工後三年が経ち養生期間が終わり、花木、樹木は根も枝葉も活発になり、剪定や施肥も必要になって行く頃だと思います。今後の維持管理で施設担当者の苦労が五年後十年後に良い緑化になつていることを期待致します。

支部活動

各支部、道路ふれあい月間に奉仕作業



中部支部会員の活躍



活躍の東部支部会員



トピアリーの手入れに励む西部支部会員



や刈り込みに技術を發揮した。
また、九月十日には、三十名の
参加を得て若年労働者の視察研
修を行った。視察は開幕が来年
に迫った愛知万博場で、その広
さに圧倒され、会場整備も最後の
仕上げ段階に入っているが、これ
で間に合うのかなあと浜名湖花博
の経験者だけに余分な心配をさせ
た。



愛知万博会場視察



「道路ふれあい月間」の八月に
国土交通省の呼びかけに呼応し
て、各支部とも大々的に活動し
ました。中部支部は、「道の日」の

八月十日、午前十時に国道一号线
宇津ノ谷（道の駅）に県トラック協
会等他の業界の皆さんとともに板
井中部支部長他焼津、藤枝を中心
に十二社が集合。

東部支部は、一週間遅れの十八
日に道の駅「富士」で同様の奉仕
作業を行った。集まつた会員は、富
士、富士宮地区の会員十一社で、
交通規制を行わなければ作業に
危険を伴う箇所を除いて、上り、
下りの植え込みをきれいに刈り上

いた。

西部支部は、八月十日、浜松市
篠原町の国道一号线と浜名湖バイ
パス交差点で国土交通省浜松土事
務所、浜松松土本事務所、浜松

市関連団体、地元の皆さんとど
も奉仕作業に汗を流した。

当曰は、午前中が道の日開催の
奉仕作業で西部支部四十一社が

集まり、二〇〇一年二〇〇二年に
設置したキリンやウマのトピアリ
ーの手入れ、周辺の刈払い、午後
は浜北市御園中央公園に場所を

移しての通常の奉仕作業で、剪定

造園施工管理技士会だより

静岡県造園施工管理技士会は、会期中の土曜、日曜、祝日の六
十二日間(一日のみ台風の影響で中止)、毎日二名出役して、一
日四回(一回一時間)の巡回庭のガーデンガイドを行った。協力会
いたいたいメンバーは二十三名、スタート前には資料の勉強会、
リハーサル、アンダントとの打合せ等々懸命の努力をしての
スタート。人が庭園ガイドを行っているとき、もう一人は庭作業
り相談員として応待があり、ガイドにとつてはハードな一日で
あつた。

また、真夏の七月二十日から八月二十八日までの火・木・土曜日の十七日間夏枯れ対策として七時半からの早朝庭園ガイドも行つた。こちらは、事前に受け付けて国際庭園をガイド。受け付けした希望者を国際庭園と百華園のグループに分け、国際庭園を一時間で廻り、終ったところで百華園をまわってきたグループを引き継いで国際庭園をもどりながら案内。一朝、一人で連続二時間のガイド。国際庭園については全員素人。懸命に勉強してのガイド。以下は皆さんの苦労と成果です。

お客様からの拍手に喜びを

(有)吉岡 吉岡愛策

静岡県民の大きな剛財の中、四月八日から花と緑の祭典(浜名湖花博)が開幕し、約三三〇〇人のボランティアの一員として、庭回廊園を主体としたガーデンガイドを担当いたしました。

ました「しそおか緑・花・緑」でガーデンアドバイザーを体験してい

聞きしガイドの参考にさせていただきました。

要請があり、七月十二日に花博会場の屋外展示課東休憩棟に集合

研修会が開催されました。

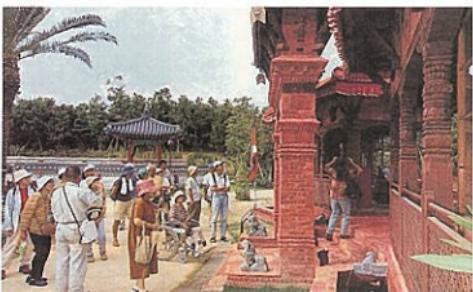
静岡県民の大きな期待の中、四八日から花と緑の祭典「浜名湖花博」が開幕し、約二三〇〇人のランティアの一員として、庭園廊廻主体としたガーデンガイドを担当いたしました。

〔光の庭〕〔碧の庭〕〔風の庭〕〔想いの庭〕そして県内各自治体の特性を生かした「町の玉手箱」などの作品を中心に、休日、一日四回(定員三〇名)にて案内させていただくにあたり、二〇〇一年に開催され

園で構成された人気施設であつて、開演前に当日の日差しと木の色、花々の構成、浜名湖の風景などを実際に見ながら巡回し、ベースに出展者の方がいらっしゃれば事前に作品のポイント等を

早朝ガイドツアーコース二十四庭園のツアーです。

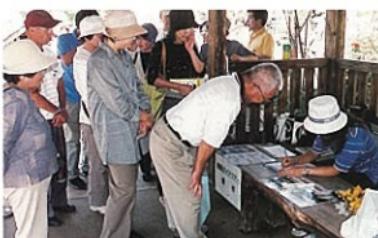
天野園芸(株) 望月教彦



朝日ガイドの水野豊さん(7/23 静岡新聞)

たことは今回のツアーリーに大変役立ち
ち落ち着いて御客様をご案内する
ことが出来ました。

とに喜びを感じております



庭園ガイド参加者受付

出発点の「水車小屋のある庭」から始まり所要時間六〇分、アテンダントさんと事前に打ち合わせを済ませ、出発です。説明にはツアーの御客様年齢層を見ながら熱く語り、クイズを出したり、話す。

大勢の御客様や、技士会会員及び、関係者に支えられ、連帯感と、花と緑の力で全ての目標を達成できましたことに感謝申し上げます。

最後に、六、〇〇〇品種、五〇〇万株の世界の植物に「ご苦労様頑張ったね」と伝えたいと思いま

早朝ガイドツアーアー

天野園芸(株) 望月敷彦

望月敷彥

ましたが内容はわからず理解出来ない庭園がほとんどでした。二十

四の庭園ガイドブックを渡されそれがどの国の特長や輸入された植物や材料等が列記されておりわかりやすく解説されています。

国際庭園の特徴はその国的地方の風景や国の植物で構成されていました。私は八月十四日の

早朝ツアードしたので家を四時に

で六時に花博会場に着きました。

協会関係者によりコースの説明があり七時三十分ガイドツアーデ

出発です百人以上が二手に分かれてそれぞれ出発し、アテンダントの方の国の紹介の後、庭の特徴の説明をする事から始まり裏話や資

材や技術者の名前、主な植物等の

を語りながらそれぞれの

アテンダントの方に云われ冷汗が

出ました。

この様な大切なツアーナーのガイド

を引き受け不勉強だったと反省して

ております。ガイドを引き受け一

番学習したのは自分だったので

ないかと思います。知人と花博に

行く度にガイドブックを持って行

き各園の庭園を語りし説明が出

来ました。

私の好きな国際庭園はネバーラ

ンドの木汲み場のレンガ細工、オラン

ダの棚で編んだ日よけと土留、ト

ルコの舗装上の渦巻き状のバード

バスで鳥の木汲み場

中国庭園の

太湖一帯の奇石とアプローチに使

苦勞様でした。

カナダ庭園のカモ(施工(株)木桐造園建設)

説明を行ないます。トルコの説明か

ら始まり二十四ヶ国最後はペリ

ーズでした。それぞれの特長を半

分説明するのがせいぜいで次に移

らないと時間があまりなくアテ

ンダントの方にうながされベリ

ズまで一時間のガイドでした。

早朝のツアーナーは清々しく気温も

最適でお客さんも良かったと思いま

す。一休みをして百草園より来

たお客様をベリーズより又一時間

案内しましたが帰りの案内は説明

書をみなくても何とかガイドが出

来た様に思いました。と云うのは

帰りはスムーズに出来ましたよ

アテンダントの方に云われ冷汗が

出ました。

この様な大切なツアーナーのガイド

を引き受け不勉強だったと反省して

ております。ガイドを引き受け一

番学習したのは自分だったので

ないかと思います。知人と花博に

行く度にガイドブックを持って行

き各園の庭園を語りし説明が出

来ました。

私の好きな国際庭園はネバーラ

ンドの木汲み場のレンガ細工、オラン

ダの棚で編んだ日よけと土留、ト

ルコの舗装上の渦巻き状のバード

バスで鳥の木汲み場

中国庭園の

太湖一帯の奇石とアプローチに使

苦勞様でした。

六ヶ月間本当に御

お世話になりました。

いつも客と花が絶えることのない県造園の庭

一八七日に及んだ浜名湖花博

も閉幕しました。じつに五〇万

以上の方が訪れたたくさんの方が、

アテンダントにも参加してくださ

いました。当初は時間配分がうま

くいかず、後半説明が早くくなっ

たお客様もいらっしゃったが良かつ

たとも思いますいつも同じよう

な説明になりがちですが、季節で

移り変わる花や材料の使い方など

新しく発見することが多く新鮮な

気持ちで説明することができます

また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、

本番ではすっかり忘れてしまった

説明を皆さん最後まで熱心に聞い

たました。また、木や花の名前を見えた

り、アレンジの仕方など自分自身

の勉強にもなりました。

花経相談やツアーガイドをやつ

ていただき、こちらが恐縮してし

まいました。舌を噛みそうな長い

花の名前を一生懸命覚えたのに、



注目を集めた県内自治体出展〈花の玉手箱〉

根源にあります。花魁のいる「もて」です。花魁のある「い」という言葉は、花魁が植え替える会場にいる人、買水している人、そんな人、そんなスタイルを説明する前を意味します。

す。この花なんにもない、ということになりました。物質的な何かが求めただけで、ただ緑を作るのではなく、経験をベースの方々は多い顔ではない。だと思いつつ、花博がい条件の中に達しただけです。

が、私は「なし」の
想は、また、花博開
催で、ヘントで
をして、庭
間際で、夏の暑い
人たよして、
を間近
タッフ全
方々に

心豊かさをあこがれ、これで豊かさをめぐらされ、それを植えます。まずは、ベースに、一緒にあります。

花や洋服をして、からではな
ます。たり、早く、幅広く、お客様に考
えのづき何でし

の気持のインは、朝早く寝るや「ふくら顔や」とあると、夜遅く、朝早く起きまゝに花束に花をつけるの気持ちが、また、花束をついたの

ちの れあ 思い 表情 もち
まで くか てい して 命散 の名 トの が米 では

をこの豊くては、は、のだてくては、は、の豊の庭園議や利用で情大切にせし場者か?

がこかはな承諾を受ける

浜の花がいえてガちをない

浜名湖花博一庭園アート[参加作品]

金木
教

この花何の花?「ネペンテス」

は不可能です。」スタート時にそのことを告げ、自分の気に入った庭、皆の注目を集めそうな庭について説明：「どんな具合です。県連携技術士会主催で開幕後約二ヵ月が過ぎた六月

すでに六十五歳になった私ですが、事務局よりガイド参加の呼びかけがあり、そんな純粋なことで承諾しました。しかし「大変なことを受けてしまった」と後悔しながら

らも、静岡県での開催が一度とな
いであろう国際博覧会に、参加で
きることを、喜びに変えよう」と
努力をしてみることにしました。

「庭園ガイドブック」で開催前リ
ハーサル、それは「三百近くの庭園」

浜名湖花博「庭園」

きました。協会の皆様、関係者の皆様、整備員さん、ナイスオオコ一をしてくれたアテンダントのお姉さん方、時折登場して皆を楽しませてくれたのたねアミリー、ありがとうございました。そしてなにより、「八七日間」一日も休まず暖き続けてくれた花たち、ありがとうございました。そして、ありがとうございました。



きらめきタワーからの国際庭園

いよいよ第一回目の当番がやつてきました。家を六時に出で静岡駅よりJRで会場に八時に到着します。出勤時間をリハーサルにてました。

十一日にこれから取り組みと反省を兼ねた勉強会での再確認、技士会・松木会長のツアーパーに参加しての自己勉強：

An aerial photograph of a traditional Chinese water town, likely Zhouzhuang or Tongli, showing a dense network of waterways and numerous buildings with red-tiled roofs. In the foreground, a small boat is visible on one of the canals.



百華園コースのお花畠

ントと約一時間庭園をまわり、出展者(ほとんど見えたが...)とも打合せをして説明に臨みました。第一回目から最後の六回目まで運営ディレクター、三人の若きアテンダントの方々には名脇役として、つまずいたとき間を取つて頂き、無事に終了することができ感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございます。

一回目の五月から三回目の六月までは全く余裕がなく、お客様の反応もわからず、最終地点で参加してくれたお客様にお礼を言い、再び花博に来ていたときレベルアップした姿を見ていたらしくことをお願いし、締め括りました。

私はガイド役立ったことは、現役時代、九州・四国・大阪・名古屋・北陸・東京等、各々三、八年生きてきたこと、また日本平里山復元に関わったこと、日本茶インストラクターの資格、園芸福祉等、特にインストラクションの技術、例えば専人の仕方アイコンタクト、間取り方などを参考にしました。

私がお客様について感じたことは、花と緑には皆さんの高い関心があるということです。花と樹木、花と庭花と家庭園芸、園芸療法等、関心が高く、今後行なうことは特に女性をターゲットにしてはと感じました。

最後になりましたが、事務局を始め、道の先輩、博覧会協会の関係の方々に紙面を借りてお礼申し上げます。



人気スポットのモネの庭

庭園ガイドが始まり、初日一日はどんな本ですかと、予期しない質問に答えられずに、うろたえていました。

その日の夜、私の知識やマニュアルに沿った説明よりも、お客様の知りたいことを説明してあげれば困ります」と言われ、その後の何回ものガイドも、ようど一時間、慣れるにしたがつて、協会を準備して頂いた教本はいつの間にか、置きざりにしたままで、ガイドはその時々の気分次第で(失礼!)本当に移り変わる草木など状況に応じて説明し始め、真剣に耳を傾けてくれるお客様の反応を感じながら、庭園は自分も見るのは始めてであり、お客様達と一緒に楽しもう」と言う気持ちで努めるようにしました。

庭園ガイドのガーデンガイドのつい

ての二回目のガイドでは充分ではないものの、お客様の顔も一人一人見渡す余裕出来て、ガイドの言葉が切れるところなく、「説明が途切れると、きっと質問攻めで、勉強不足がばれないよう」一方的な説明に徹したこと幸いしてか、葉が切れるところなく、「説明が途切れると、きっと質問攻めで、勉強不足がばれないよう」一方的な説明に徹したこと幸いしてか、

回目のアーチは一時間の時間配分が取れず、わずか四十分で終り、何を話したのか、もちろんお客様の様子など記憶には無い。体中脂汗で不快、気を取り直して二回目のツアーノのとき、お客様からあの本はどんな本ですかと、予期しない質問に答えられずに、うろたえていました。

その日の夜、私の知識やマニュアルに沿った説明よりも、お客様の知りたいことを説明してあげれば困ります」と言われ、その後の何回ものガイドも、ようど一時間、慣れるにしたがつて、協会を準備して頂いた教本はいつの間にか、置きざりにしたままで、ガイドは

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

回のアーチは一時間の時間配分が取れず、わずか四十分で終り、何を話したのか、もちろんお客様の様子など記憶には無い。体中脂汗で不快、気を取り直して二回目のツアーノのとき、お客様からあの本はどんな本ですかと、予期しない質問に答えられずに、うろたえていました。

その日の夜、私の知識やマニュアルに沿った説明よりも、お客様の知りたいことを説明してあげれば困ります」と言われ、その後の何回ものガイドも、ようど一時間、慣れるにしたがつて、協会を準備して頂いた教本はいつの間にか、置きざりにしたままで、ガイドは

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

と考へ直して、質問の内容をインターネットなどで調べて、日を置いた

で入り口の国際庭園の説明を「今日は特別にサービスします」と

で入り口の国際庭園の説明を「今日は特別にサービスします」と

で入り口の国際庭園の説明を「今日は特別にサービスします」と

で入り口の国際庭園の説明を「今日は特別にサービスします」と

を説明する際に、地球儀を回しながらとまっていた一匹のハエを追い払ったところ、その場所にベリーズを見つけたなどと笑いを説いて、オオバブの木は年輪が不明のためここにいる皆さんと同じ年齢不詳などと、樹木の体内には人間と同じぐらいの水分を含んでいるからこれも同じだとか、こうなればお客様の笑顔を見ることが嬉しいくなり、ユーモアが次から次へと出でてくる。

あるときは、六〇歳位の母親と



夏以降はスイレンも咲き、フランス モネの庭の雰囲気も出る

庭園ガイドの教本はお客様です

庭苑デザイン 太田 誠

その娘さんが私に近寄り、「ガイドさん！ ありがとうございました」とうございました。

一緒に写真を撮っていただけませんか？」と言われ、ドキドキして顔が赤くなったり、別の日にはツアーワーの時に五歳前後の、背が高く派手な赤いシャツ、最初から最後

笑顔で、カメラに収まってしまうことになれば、調子に乗るやすい單純な私も、往復九〇分の真夏の國際庭園早朝ガイドの依頼にも参加を決めて下さいました。

「こでも短時間ではあるがお客様に楽しんで頂きたいと、要所々

所の特徴だけの説明に徹し、この木何の木？ 木になる木…と口ずさみながらのモンキー・ボット（アメリカネムノキ）の説明に、夢中になつてたが、朝の七時半とはいえ、自分が何を話しているのかわからなくなるほど暑さで、腰痛とした意

識の中、ガイドが終わり、お客様が解散されたあと、スタッフだけになり、「國際庭園の説明は本当に面白かったです」とお客様のお言葉を百華園のガイドさんから頂いた時には、体中の暑さが涼しさに変わった程で、そのままの頭の中に浮び、「そのお客様はきっと楽

しい一日を過ごされたのではないよか」と勝手に思つて居りました。

庭園ガイドの基本はお客様の「拍手や笑顔」がなによりの教本であると思い、私は最長の十七日間で、大きかったときは、私の説明にしっかりと耳を傾けていてくださいました。面白い話を有難う。楽しかったのだぞ、遡に感動を受けたり。そして、奥さんの押すシャッターに、勉強であったと感謝した次第です。



園路を彩った花灯籠

一緒に写真を撮っていただけませんか？」と言われ、ドキドキして顔が赤くなったり、別の日にはツアーワーの時に五歳前後の、背が高く派手な赤いシャツ、最初から最後

早朝ガイドツアーを振り返って

田旗造園建設(株) 川口禎一

当初の庭園ガイドの当番が一段

落した時に、新たに早朝ガイドに参画する旨をきました。あれま

た勉強の仕直しかと感じながら、気を入れ直してトライすることにしました。やるからには必ず準備

からですが研修会にも参加できず、に配布を受けたテキスト・ガイドブックの勉強、各庭園の細かな観察、施工業者、資材屋さん、インターネット等で情報を收集し、ガイドブックを添削しつつ自分なりのガイドブックを作成しました。が

不安も残り、先発のガイド振りも雨風が多少でも避けられる場所

での解説ともなりました。カンペも準備はしていたものの、みるとまたならず、ガイドブック作

成時の記憶をたどりつつ自分の印象深かつた庭園ではガイドを持て熱を入れました。皆様の反応を肌で感じる間もなく、最終地イタリ

ア庭園へ到着。総の解説とお付合い頂いた皆様へお礼を申し上げました。

散会後、集合地へ戻りほつと一息。が結果的には何をやつたのか

記憶に残っています。無我夢中で全庭園をオロローしなければと

強く感じます。今回の催しも成功裡に閉幕し、様々な分野の方々

が全力投球でゲームに望み、勝利

し美酒に酔つたこと思います。

最後にこのガイドに参加できたこと、又庭園ガイドにも吉田に続

き参加できることを誇りに思います。けれどもこのガイド



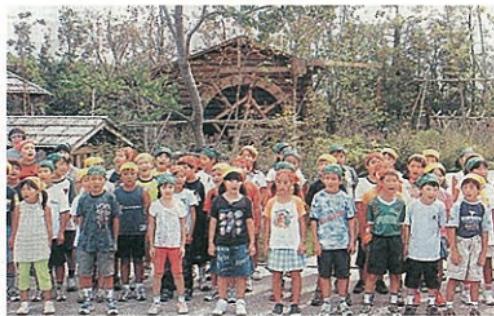
国際庭園によく使われるクルクマ



イタリア庭園の門構え

話題の森

花博開催中の9月17日(金)に、地元浜松市立伊佐美小学校4年生91人に、(社)静岡県造園緑化協会の招待で、協会出展庭園「水車小屋のある庭」の前で今はなつかしい「森の水車」を元気一杯に歌ってもらいました。何故、伊佐美小学校か? 記者清水みのるが同校出身の偉大な先輩であることによる。清水みのるは、この他にも「かえり船」「月がとっても青いから」「別れ船」など中高年者にとってはなつかしい歌謡曲を残している。当日は、協会の西野啓参園務委員長他西野部支部の委員3人が客席の輸送を行った。



水車の前で合唱する児童たち=浜松市の浜名湖花博会場で

軽快 森の水車 大合唱

浜名湖宿は十七日、夏に逆戻りしたかのような暑さの中、多くの米賀者が詰めかけた。日差しは強いものの、浜名湖か



浜名湖花博
10月11日まで

い吹き寄せ
しい涼し
場者らは
児童の倉
でいた。

○…水車小屋のある庭
では水車にちなんで、浜
松市伊左町、伊佐見小
学校の四年生児童が「森
の水車」を合唱した。

唱用に編曲された「新生森の水車」を歌つた後、原曲を聴衆と一緒に合唱した。

た。オルガン、木琴などの楽器伴奏をつけた合唱も熱湧。来場者の大きな拍手を要けた。児童らは「緊張したけれど下手に歌えた」と笑顔で話してい

●浜名湖花博も入場者五四五五人を数え、大成功の内に十月十一日に幕を閉じました。水車小屋での庭園相談・緑化相談も疲れきりました。

勢のお客様が訪れて食事をとり、語らいの場となっていました。
●「どちらからですか?」と同うと、り、思案道や九州からのお客様が、ついでありますとお詫びの三葉が出来ます。たゞ花博協会は懇意に宣伝していきません。花博協会は懇意に宣伝していきません。P.R.不足だと云われておありましたが、宣伝は自分が関心あることならどんな小さな声、記事でも耳、目に入るものです。関心のあることは確実にしか聞こえず、新聞一頁の広告も目にとまらぬものです。